

各位

上場会社名 株式会社 PALTEK
代表者 代表取締役社長 矢吹 尚秀
(コード番号 7587)
問合せ先責任者 常務取締役オペレーションサービスディビジョン本部長 井上 博樹
(TEL 045-477-2000)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2020年8月5日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2020年12月期通期連結業績予想数値の修正(2020年1月1日～2020年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	29,500	300	220	150	13.69
今回修正予想(B)	28,000	120	0	60	5.48
増減額(B-A)	△1,500	△180	△220	△90	
増減率(%)	△5.1	△60.0	△100.0	△60.0	
(ご参考)前期実績 (2019年12月期)	30,401	384	254	98	9.04

修正の理由

【通期連結業績予想について】

通期連結業績予想につきましては、売上高は半導体事業において新型コロナウイルス感染症の影響などにより事務機器や放送機器、産業用PC向けなどが低調に推移すると見込まれること、デザインサービス事業においても産業機器向けの設計受託案件が低調に推移することや放送関連のODM(※1)案件が延期になったことなどから、売上高は減少の見通しです。

営業利益につきましては、売上高の減少に伴い売上総利益が減少すること、および仕入値引ドル建債権の評価額が現時点の為替レート水準では第4四半期においてもマイナスになることが想定されることなどにより、減少の見通しです。

経常利益につきましては、営業利益が減少することに加え、第3四半期(累計)で7千2百万円の為替差損が発生していることなどにより減少の見通しです。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、経常利益の減少に伴い、想定を下回る見通しです。

【新型コロナウイルス感染症の当社業績に対する影響について】

当社グループは、エレクトロニクス製品を開発しているメーカーに半導体や関連製品の販売、設計受託やODMの提供などを主要な事業としています。

新型コロナウイルス感染症がおお客様の事業に影響を及ぼし、当社業績に対しても次のような影響が生じてくることが想定されます。

当社グループでは売上高の6割以上が産業機器関連のおお客様になります。その分野によって影響の度合いは異なり、医療機器分野においては、エンドユーザーである医療機関の経営状態により投資状況に影響を受ける可能性があります。放送機器向けでは感染予防対策により各種イベントが開催されないことなどから設備投資に対して慎重になっていると想定されます。また、お客様によっても異なりますが、ファクトリーオートメーションや計測機器など設備投資に関連する分野についても影響が生じる可能性があると考えられます。加えて、お客様の業績が低調に推移する場合、設計開発の外部への委託案件が減少することも考えられ、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。

※1 ODM(Original Design Manufacturing): 発注元企業のブランドで販売される製品を設計するだけでなく、製造も行うこと。

※2 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

以上